

<例 1>「何が壁にはってあるのですか」という疑問文を作る場合

ステップ①: 疑問詞の部分(何)に同じ種類の「適当な単語(3 人称・単数)」を入れて肯定文を作る。

「何」を「**私のスケジュール**」に変える。→「**私のスケジュール**が壁にはってあります」

My schedule is on the wall.

ステップ②: 入れた「適当な単語」を疑問詞に戻し、文の最後を?にする。

What is on the wall?

<例 2>「誰がパーティーに来たいのですか」という疑問文を作る場合

ステップ①: 疑問詞の部分(誰)に同じ種類の「適当な単語(3 人称・単数)」を入れて肯定文を作る。

「誰」を「**彼**」に変える。→「**彼**がパーティーに来たがっています」

He wants to come to the party.

ステップ②: 入れた「適当な単語」を疑問詞に戻し、文の最後を?にする。

Who wants to come to the party?

【答え方】

主語をたずねる疑問文の答え方は、一般的に “Your schedule is.” や “He does.” のように be 動詞の疑問文の場合は「答えとなる名詞 + be 動詞」、一般動詞の疑問文であれば「答えとなる名詞 + do/does」となります。

(be 動詞の疑問文) **疑問詞 + is /was + ~?** → **答えとなる名詞 + be 動詞.**

(一般動詞の疑問文) **疑問詞 + 一般動詞 s/es + ~?** → **答えとなる名詞 + do/does.**

<例 1: be 動詞の疑問文>

What is on the wall? → ***Your schedule is.**

*ただし、ネイティブの多くは “**Your schedule.**” と物の名前だけを答えたり “**Your schedule is on the wall.**” と最後まで答えたりします。理由は「文法上は正しくても不自然に聞こえる」ということです。(ここでは文法上正しい答え方を掲載)

<例 2: 一般動詞の疑問文>

Who wants to come to the party? → **I do. / He does.** (I want. / He wants. ではないので注意)

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。